

三角形に関連する量と三角形の合同条件について考察する。

- (1)  $\triangle ABC$  において、 $BC = 4$  であり、 $\triangle ABC$  の外接円の半径は  $\frac{4\sqrt{3}}{3}$  であるとする。このとき、 $\angle BAC$  の大きさについて二つの場合を考えることができ、そのうちの小さい方は  であり、大きい方は  である。さらに、 $\triangle ABC$  の面積は  $\frac{3\sqrt{3}}{4}$  であるとする。このとき、 $AB \cdot AC =$   である。

$\angle BAC =$   のとき、余弦定理より  $AB^2 + AC^2 =$   なので  $(AB + AC)^2 =$   である。よって、 $AC =$    $- AB$  より

$$AB = \frac{\text{ヒ} \pm \sqrt{\text{フヘ}}}{2}$$

である。

また、 $\angle BAC =$   のとき、同様に考えると  $AB = \frac{\sqrt{19} \pm \sqrt{7}}{2}$  であることがわかる。

,  の解答群

① 30°	② 45°	③ 60°	④ 90°
⑤ 120°	⑥ 135°	⑦ 150°	

- (2) 次の命題 (a), (b) の真偽の組合せとして正しいものは  である。

- (a) 二つの三角形において、一組の辺、面積、外接円の半径がそれぞれ等しいならば、その二つの三角形は合同である。  
 (b) 二つの三角形において、一組の角、面積、外接円の半径がそれぞれ等しいならば、その二つの三角形は合同である。

の解答群

	①	②	③	④
(a)	真	真	偽	偽
(b)	真	偽	真	偽

(24 共通テスト 追・再試験 IA1[3] I2[2])

【答】	テ	ト	ナ	ニヌ	ネノ	ハ	ヒ	フヘ	ホ
	2	4	3	19	25	5	5	13	2

【解答】

- (1)  $\triangle ABC$  において、 $BC = 4$  であり、外接円の半径は  $\frac{4\sqrt{3}}{3}$  であるから、正弦定理より

$$\frac{4}{\sin \angle BAC} = 2 \cdot \frac{4\sqrt{3}}{3} \quad \therefore \sin \angle BAC = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$\angle BAC$  は  $\triangle ABC$  の内角の一つであり、 $0^\circ < \angle BAC < 180^\circ$  であるから、 $\angle BAC$  の大きさは  
 小さい方  $60^\circ$ 、大きい方  $120^\circ$  ……(答)

の二つの場合がある。さらに、 $\triangle ABC$  の面積が  $\frac{3\sqrt{3}}{4}$  のとき

$$\begin{aligned}\frac{1}{2}AB \cdot AC \sin \angle BAC &= \frac{3\sqrt{3}}{4} \\ \frac{1}{2}AB \cdot AC \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} &= \frac{3\sqrt{3}}{4} \\ \therefore AB \cdot AC &= 3 \quad \dots\dots \textcircled{1}\end{aligned}$$

である。

$\angle BAC = 60^\circ$  のとき、余弦定理より

$$\begin{aligned}AB^2 + AC^2 - 2AB \cdot AC \cos 60^\circ &= 4^2 \\ \therefore AB^2 + AC^2 &= 16 + 2 \cdot 3 \cdot \frac{1}{2} = 19 \quad \dots\dots \textcircled{2}\end{aligned}$$

なので

$$\begin{aligned}(AB + AC)^2 &= AB^2 + AC^2 + 2AB \cdot AC = 19 + 2 \cdot 3 = 25 \quad \dots\dots \textcircled{3} \\ \therefore AB + AC &= 5 (> 0)\end{aligned}$$

である。よって、 $AC = 5 - AB$  を  $\textcircled{1}$  に代入すると  $\dots\dots \textcircled{4}$

$$\begin{aligned}AB(5 - AB) &= 3 \\ AB^2 - 5AB + 3 &= 0 \\ \therefore AB &= \frac{5 \pm \sqrt{13}}{2} \quad \dots\dots \textcircled{5}\end{aligned}$$

である。

また、 $\angle BAC = 120^\circ$  のとき、同様に考えると

$$\begin{aligned}AB^2 + AC^2 - 2AB \cdot AC \cos 120^\circ &= 4^2 \\ AB^2 + AC^2 &= 16 + 2 \cdot 3 \cdot \left(-\frac{1}{2}\right) = 13\end{aligned}$$

なので

$$\begin{aligned}(AB + AC)^2 &= AB^2 + AC^2 + 2AB \cdot AC = 13 + 2 \cdot 3 = 19 \\ \therefore AB + AC &= \sqrt{19} (> 0)\end{aligned}$$

である。よって、 $AC = \sqrt{19} - AB$  を  $\textcircled{1}$  に代入すると

$$\begin{aligned}AB(\sqrt{19} - AB) &= 3 \\ AB^2 - \sqrt{19}AB + 3 &= 0 \\ \therefore AB &= \frac{\sqrt{19} \pm \sqrt{7}}{2}\end{aligned}$$

であることがわかる。

(2) (a) : 偽

(1) の三角形において  $\angle BAC$  は  $60^\circ$  と  $120^\circ$  の 2 通りがある。この角をもつ三角形をそれぞれ  $\triangle ABC$ ,  $\triangle A'B'C'$  とおく。この二つの三角形  $\triangle ABC$ ,  $\triangle A'B'C'$  は、辺  $BC$ ,  $B'C'$  の長さが 4、面積が  $\frac{3\sqrt{3}}{4}$ 、外接円の半径が  $\frac{4\sqrt{3}}{3}$  であるが、 $\angle BAC = 60^\circ$ ,  $\angle B'A'C' = 120^\circ$  であり合同でない。

(b) : 真

二つの三角形  $ABC$ ,  $A'B'C'$  について一組の角、面積、外接円の半径がそれぞれ等しいものとする。等しい一組の角を  $\angle BAC$ ,  $\angle B'A'C'$  とし、面積を  $S$ 、外接円の半径を  $R$  とおく。

$\angle BAC = \angle B'A'C'$  に注意すると

$$\begin{cases} S = \frac{1}{2}AB \cdot AC \sin \angle BAC \\ S = \frac{1}{2}A'B' \cdot A'C' \sin \angle B'A'C' \end{cases}$$

$$\therefore AB \cdot AC = A'B' \cdot A'C' \quad \dots\dots \textcircled{6}$$

正弦定理より

$$\begin{cases} \frac{BC}{\sin \angle BAC} = 2R \\ \frac{B'C'}{\sin \angle B'A'C'} = 2R \end{cases} \quad \therefore BC = B'C'$$

であり、辺々2乗して、余弦定理を用いると

$$\begin{aligned} AB^2 + AC^2 - 2AB \cdot AC \cos \angle BAC &= A'B'^2 + A'C'^2 - 2A'B' \cdot A'C' \cos \angle B'A'C' \\ \therefore AB^2 + AC^2 &= A'B'^2 + A'C'^2 \quad (\because \angle BAC = \angle B'A'C', \textcircled{1}) \\ (AB + AC)^2 - 2AB \cdot AC &= (A'B' + A'C')^2 - 2A'B' \cdot A'C' \\ \therefore AB + AC &= A'B' + A'C' \quad (\because \textcircled{1}) \quad \cdots \cdots \textcircled{2} \end{aligned}$$

①, ②より

$$\begin{cases} AB + AC = A'B' + A'C' = p \\ AB \cdot AC = A'B' \cdot A'C' = q \end{cases}$$

とおくと、組  $\{AB, AC\}$ ,  $\{A'B', A'C'\}$  はともに  $t^2 - pt + q = 0$  の解であり、組  $\{BC, AB, AC\}$ ,  $\{B'C', A'B', A'C'\}$  は一致する。

よって、 $\triangle ABC$ ,  $\triangle A'B'C'$  は合同である。

以上より、命題 (a), (b) の真偽の組合せとして正しいものは

$$\textcircled{2} \quad \cdots \cdots (\text{答})$$

である。

- 図形的に考察しておく。

- (a) 二つの三角形  $ABC$ ,  $A'B'C'$  について一組の辺、面積、外接円の半径がそれぞれ等しいものとする。

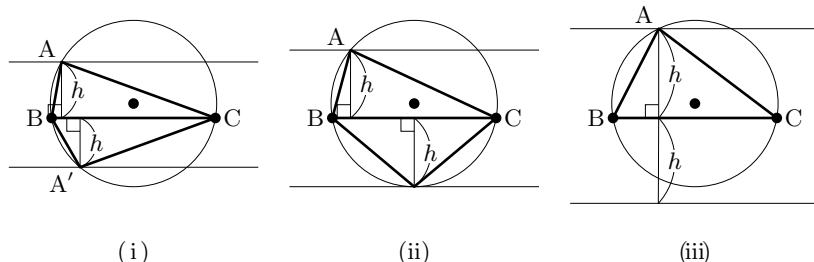
外接円の半径が等しいので  $\triangle ABC$  と  $\triangle A'B'C'$  はひとつの円に内接するものとしてよく、等しい一組の辺を  $BC, B'C'$  とすると、 $B$  と  $B'$ ,  $C$  と  $C'$  は一致するものとしてよい。  $\triangle ABC$  と  $\triangle A'BC$  について考える。

さらに、面積が等しいという条件が与えられると、 $BC$  を底辺と考えることにより、 $A, A'$  から  $BC$  に下した垂線の長さ (高さ  $h$ ) が決まる。  $BC$  と平行で  $BC$  との距離が  $h$  の直線は 2 本存在する。

$BC \neq 2R$  のとき、この 2 本の直線は外接円と

- (i) 2 本とも 2 点で交わる
- (ii) 1 本は 2 点で交わり、他方は接する
- (iii) 1 本は 2 点で交わるまたは接し、他方は円と共有点をもたない

の 3 通りがある。



- (i) のとき、 $\angle BAC, \angle BA'C$  は鋭角、鈍角があるが、一方を鋭角、他方を鈍角とすると、 $\triangle ABC$  と  $\triangle A'B'C'$  は合同ではないので、これが反例となる。

- (b) 二つの三角形  $ABC$ ,  $A'B'C'$  について一組の角、面積、外接円の半径がそれぞれ等しいものとする。

外接円の半径が等しいので  $\triangle ABC$  と  $\triangle A'B'C'$  はひとつの円に内接するものとしてよい。等しい一組の角を  $\angle BAC, \angle B'A'C'$  とすると、弧  $BC, B'C'$  長さは等しいので  $B$  と  $B'$ ,  $C$  と  $C'$  は一致するものとしてよい。

さらに、面積が等しいという条件が与えられると、BCを底辺と考えることにより、AからBCに下した垂線の長さとおA'からBCに下した垂線の長さは同じ値であり、A、A'の位置は2通りまたは1通り ( $\angle BAC$ ,  $\angle B'A'C'$ が直角のとき、AとおA'は一致するので1通りである)に決まる。

A、A'の位置が1通りある場合は、A'がAと一致し $\triangle ABC$ とお $\triangle A'BC$ は合同である。

A、A'の位置が2通りある場合を考える。

A'がAと一致するとき、 $\triangle ABC$ とお $\triangle A'BC$ は一致し、合同である。

A'がAが異なるとき、右図のように $\triangle ABC$ ,  $\triangle A'BC$ をとると

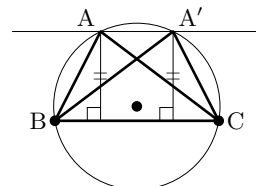
$$\angle A'BC = \angle A'AC \quad (\because \text{円周角の定理})$$

$$= \angle ACB \quad (\because AA' \parallel BC)$$

$$\angle A'CB = 180^\circ - (\angle BA'C + \angle A'BC)$$

$$= 180^\circ - (\angle BAC + \angle ACB)$$

$$= \angle ABC$$



であり、 $\triangle ABC$ とお $\triangle A'BC$ は合同である。

以上より、二つの三角形において、一組の角、面積、外接円の半径がそれぞれ等しいならば、その二つの三角形は合同である。

以上より、命題 (a), (b) の真偽の組合せとして正しいものは (2) である。